

「市長への手紙」HP掲載データ（令和3年4月分）

見出し	0304-1 ワクチン接種の優先順位
ご意見	新型コロナウイルスのワクチン接種について、高齢者よりも移動する若い方々について、先に打つことが感染を止めるには有効なのではないか。市としてそのような取り組みをしてはどうか。
回答	<p>新型コロナウイルスのワクチン接種については、最初に医療従事者を、そして次に高齢者を対象として接種を進め、その後順次基礎疾患のある方や、若い方々へと広げていく予定としております。</p> <p>ご提言のあったとおり、活発に移動する若い方々が、感染を拡大させる要因となっている現状はあるものと思っております。</p> <p>その中であって、高齢者を優先して接種することとしておりますのは、なによりも「命を守る」ことを優先にしているためです。報道等がなされているとおり、高齢の方は発症すると重症化しやすく、命の危険にさらされる可能性が高いことから、優先して接種を行うよう、国において決定しているものです。</p> <p>当市といたしましても、もちろん感染拡大を防いでいくことは重要であると考えておりますが、まずは命を守ることを優先に、高齢者への接種を進めていきたいと考えております。</p> <p>多くの方々がワクチンを接種し、一日も早く以前の日常が戻ってくるよう、接種を進めてまいりますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。</p>
担当課	ワクチン接種対策室 電話：0194-54-8007

「市長への手紙」HP掲載データ（令和3年4月分）

見出し	0304-2 市役所機能分散移転
ご意見	現行の大川目市民センターと宇部市民センターに市役所機能を事前防災のバックアップとして分散移転させてはどうか
回答	<p>ご提言の大川目市民センター及び宇部市民センターへの市役所機能の分散移転につきましては、移転機能の選定や設備の調整等が必要であると捉えており、両市民センターの施設規模等を考慮いたしますと、現時点において早急な機能移転は困難であると考えられることから、今後、他市の状況や有効性について調査・研究してまいります。</p> <p>また、昨年度、市では、業務継続計画（BCP）を策定し、大規模災害時において優先的に実施すべき業務を迅速かつ適切に執行することとしております。今後におきましても、市民センターを含め市の施設の有効活用につきまして引き続き取り組んでまいります。</p>
担当課	消防防災課 電話：0194-52-2173

「市長への手紙」HP掲載データ（令和3年4月分）

見出し	0304-3 小中学校を集約した事前防災
ご意見	大川目地区と宇部地区の小学校・中学校に久慈市の児童生徒を集約する形で「学校事前防災」を図るべきではないか。
回答	<p>ご提言の児童生徒の集約につきましては、久慈地区の生徒数や先生、学校関係者の総数を考慮いたしますと、集約先学校の施設規模では教育環境が大変厳しくなることが予想され、実現は非常に困難であると考えております。</p> <p>また、仮に集約先の学校施設を拡大するにしても、財政面や各地域住民の合意形成が必要であるほか、現在の市総合計画や市学校施設保全計画等の大幅な見直しも必要となるため、早急な対応はきわめて困難であります。</p> <p>現在は、津波対策として湾口防波堤などのハード整備が進められておりますが、大津波をハード対策のみで防ぎきることは難しく、「大地震が起きたらまずは逃げる」ことを徹底させる必要があると考えております。岩手県では今年度を目途に、詳細な津波浸水シミュレーションを実施していますので、市においてもその結果を踏まえながら、適切な避難ができる体制を整えることで、児童生徒の安全を守ってまいります。</p>
担当課	教育総務課 電話：0194-52-2154